

# 日本高齢者運動連絡会ニュース

発行責任者 藤谷 恵三 発行所 日本高齢者運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンボール中野504号  
Tel/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com  
<http://www.nihonkouren.jp>

発行：毎月1日  
2016年4月1日  
No.308



ラフターヨガの4つの要素で、「ホッホ、ハハハ」と山口先生のエクササイズ  
鶴岡・田川高齢者集会＝東北公益文科大学院（記事P4）

## 第30回日本大会in東京大会準備進む 3・14「3 月度高齢期運動推進事務局団体会議」開く 日本高齢者運動連絡会

3月度高齢期運動推進団体会議が3月14日、東京都中野区の事務所で開催されました。最初に各中央団体や県の活動報告が行われ、全日本年金者組合からは、年金署名が51万筆を超え目標の100万筆を参議院選挙までに集めきること、年金裁判では原告団が3,900人を超え大きな運動になっていることなどが報告されました。建交労からは、厚生労働省交渉を行い、その内容をホームページで公開していること、医療福祉生協連からは、3月22日に奨学金問題での院内集会を行う準備を進めていること、民医連からは、10回目の手遅れ死亡事例調査をまとめたことなどが報告さ

れました。

県の報告では、愛知県から500人の規模で新年の集いを行ったこと、神奈川県では県の高齢期運動連絡会総会を行い、東京大会に500人で参加することを決めたことや事務局長に大河原氏が決まったなどが報告されました。

情勢関連では、国保料についての広域連合との交渉や懇談の結果、2年連続の据え置き（茨城県）や2年連続の値下げ（静岡県）などの報告がありました。

東京からは、地域実行委員会づくりについて、3月末までに23区で17、26の市町村部では、12の実行委員会の結成予定があること

が報告されました。

今回の会議の中心議題は、第30回日本高齢者大会in東京の企画の決定でした。東京実行委員会からの提案を受け、論議を行いました。

講座や分科会のテーマでは、TPP、教育問題、高齢者や子どもの貧困問題などについての要望が出され、反映されることとなりました。

また、俳句や川柳などの文化的なテーマについても意見が出され、日本高連の25周年記念事業との関連でも検討することとしました。

30回大会は、参議院選挙を挟むことから、日本高連の総会を例年より1ヶ月早く4月16日に東京都中野区の中野サンプラザで開催すること、リーフレットやポスターをそれまでに作成して準備を早めることなどを確認。

## 「高齢者の貧困化」宇都宮健児氏の講演 3・12「第15回茨城県高齢者大会in県西」に200人 茨城県高齢期運動連絡会

上記の催しが、筑西市野殿地区の県西生涯学習センターで3月12日（土）に200人の参加で開かれました。

午前は全体会の講演、宇都宮健児氏の「高齢者の貧困化」が行われ、午後は「年金」「今風井戸端会議」「川柳」「医療・介護」の4つの分科会が行われ、参加者は熱心に学び又楽しく交流しました。各分科会ごとにアピール文を採択し、自由解散となりました。

以下 宇都宮健児氏の「高齢者の貧困化」の要旨を紹介します。



日本は、貧困と格差が拡大している。国民の6人に1人、ひとり親家庭では2世帯に1世帯が貧困状態に陥っている。

貧困拡大の背景には、脆弱な社会保障制度

と非正規労働者・働く貧困層（ワーキングプア）の拡大がある。非正規労働者は全労働者の4割、年収200万円未満の低賃金労働者は8年連続1000万人以上となっている。

年金だけでは生活できない高齢者も急増しており生活保護利用世帯の約5割を高齢者世帯が占めるようになっている。

こうした状況の下で全国各地で痛ましい事件が続発している。

安倍政権のもとでは、社会保障費の削減と防衛費の増額に一層拍車がかかるだろう。

貧困と格差の是正のためには、人間を大切にすまともな労働政策、消費税増税より富裕層、大企業に対する適正な課税を強化して充実した社会保障制度を築くことが必要である。

## 高齢者のいのちと人権 尊厳が保障される地域を 「高齢期を考える」シンポに50人超 茨城高齢期を考える会

茨城高齢期を考える会

情勢と地域包括ケアなどで検討会

老後の不安が広がってきた時代“高齢者誰もがいのちと人権、尊厳が保障される地域にするには何が必要か?”を考えようと1月31日、日曜の午後、茨城高齢期を考える会主催でシンポジウムが開かれました。

水戸市内の社協ボランティア会館(ミオス)会場に高齢者、ボランティア、医療福祉関係者、専門職、行政職員など50余人が参加しました。

はじめに水戸市高齢福祉課・土屋氏より“自治体の地域包括ケアづくりと地域包括支援センターについて”そして茨城保健生協・中山氏から“医療生協の地域包括ケアづくり”について講演を受け、その後、会場より発言、意見交換となりました。

“中学校区程度の範囲を「地域」の単位として、そこに高齢者の住まいの保障と医療、介護サービス網をつくり、在宅でも必要な医療・介護サービスを受けられ、安心出来るしくみ



をつくる”という「地域包括ケアシステム」づくり、…この現状は？自治体行政の方針・計画は？サービスを保障する事業所の方針、計画は？これらの説明に対し会場から昨今の地域の実態や意見などいろいろ出されました。…\*国の社会保障政策が後退しているが（高齢者の人権を守る）包括ケアは大丈夫？地域包括ケアを保障する鍵「在宅医療」はどこまで可能？「医療、医者」の問題はどうなる？介護職員不足が地域包括ケアづくり、地域の医療福祉サービスの障害になる！老老介護の現実、要介護高齢者を抱えた家族の悩み、地域包括支援センター（高齢者支援センター）も職員が少なく大変なのでは？最近の医療制度、介護保険制度の改変などで住んでいる自治体、地域によって「高齢者福祉」（いのちと人権保障）に大きな差が出る恐れ！水戸市の高齢

者支援センター（8箇所のスタートの状況）は。

隣接市（ひたちなか市）の高齢者政策は？地域包括ケアをつくり上げるには、見守り・支え合いのネットワークが出来なければ無理、医療・介護問題だけでなく「高齢者が安心して歩けるまち」など、環境問題も取り上げないと！など意見が出されました。

しかし、「高齢者誰もが、いのちと人権が守られる地域にするには何が必要か？」をテーマにしての初めての研究、討論会でしたので、この場ではまとめや結論までには至らず、午後4時終了しました。

当茨城高齢期を考える会としては今後、例会や、もう少し調査・研究・検討を加えて、（最初の）報告や提言を行う計画となっています。

（記 茨城高齢期を考える会事務局長 野坂英一）

## ～ひとりぼっちの高齢者をなくそう！～ 第12回群馬県高齢者運動連絡会総会開かれる

### 群馬県高齢者運動連絡会

群馬県高齢者運動連絡会は第12回定期総会を2月16日（火）午後、群馬中央医療生協・生協会館2階ホール（前橋市）で開きました。参加者は、12団体29人でした。①第11期経過報告と第12期運動方針の決定②決算・予算の確定③役員を選任を行いました。

①秋に群馬県高齢者大会、春に群馬県高齢者連絡会総会を開くことを定例化する。②戦争法廃止をさせる政府をつくるために広範な

運動と世論づくりをすすめる。③日本高齢者大会の参加者目標を前年の2倍以上とする。④参加団体の直面する課題を共有し、共同行動を広げる。⑤県内各地域で高齢期運動の核になる組織づくりにとりくむ。⑥その他。

学習講演では、「高崎エリアの貧困」と題して、はるな生協・反貧困活動実行委員会事務局長の野口裕美氏から、「炊き出しや食材支援、生活保護への支援」活動の紹介があり、



女性や中高年が様々な事情で貧困に陥った実例が報告されました。身近なこととして身につまされ、暮らし・医療・介護などの支えの乏しいことを痛感させられました。

団体特別報告では、年金者組合から、辺野

古新基地建設反対運動の支援に駆けつけ、「あきらめない」たたかいに励まされたとの報告がありました。

(群馬県高齢者運動連絡会

事務局次長・樋口聖次)

## 高齢者福祉の充実を求め、人権と尊厳を守り 地域からの連帯で、一人ぼっちの高齢者をなくす 第8回鶴岡・田川高齢者集會に120人

山形県 鶴岡・田川いきいき輝く高齢者運動実行委員会

東日本震災日の翌日、鶴岡市で第8回高齢者集會を東北公益文科大学院鶴岡キャンパスで120人を超える参加者で、ラフターヨガで楽しく呼吸法と健康について学びました。

期 日 :2016年3月12日(土) 9:30~12:50

会 場 :東北公益文科大学院・鶴岡キャンパス

記念講演:「笑いヨガと健康法」

(講師:山口なすこ氏)

『われら地球家族』をモットーに庄内国際青年祭を主宰、2007年乳がんが見つかり、抗

がん剤治療と手術を受け、病室でラフターヨガの考案者ドクターカタリア氏の記事を目にし、東京でリーダー研修に参加、ラフターヨガを体得し、その後公認ティーチャー資格を得て、現在世界を股にかけて飛び回っています。

今日の講演は、ラフターヨガのポイントとしてアイコンタクトと笑いと平和が本当に大切、そのために高齢者は少しの学習とヨガによる深呼吸と健康が高齢期楽しく過ごす事が

大事ですよ、という講演に納得でした。

3つの分科会で講演終了後、私たちが抱える課題について討議しました。

①第一分科会：楽しい健康づくり

記念講演とも重なり合う点もあり、地域で取り組まれている活動について交流しました。報告者はゆうゆう百歳塾吉野文夫塾長が基調報告を行いグループワークしました。

②第二分科会：地域で出来る認知症対応

認知症介護の基本的理解と地域で出来る認知症対応について、社会福祉法人山形虹の会



(第一分科会 報告するゆうゆう百歳塾 吉野塾長)

かけはしの結城弥生さんから基調報告がされ、自分は認知症大丈夫かなという参加者からの切なる疑問や心配、変だなー受診してはという本人や家族への伝え方、認知症の家族を抱えどう対応するかという深刻な悩みも含めての討議になりました。

報告者から、Aさん、Bさんの事例報告もなされ、また『アルツハイマーの患者からの10のお願い』も出され、繋がりを大切にし、人



(第二分科会 報告者 社会福祉法人山形虹の会かけはし 結城弥生さん)

としての尊厳を認めようと討議が深められました。

③第三分科会：高齢者の集う場所づくり

町内会規模のたまり場運営が生み出した

『高齢者同士のつながりと支えあい活動』日出東おたっしゅクラブの活動について代表の菅原ヒサ子さんから報告がされ、地域で取り組まれている活動がこもこも出されました。また、公民館を使用しているので使用料は、参加費は無料なのかなどの質問も多く出されました。その中で地域での顔の見える・つながりを活かす点で生協・医療生協・高齢協の組合員が協力し合って総合的に進めることが要になり、町内会・老人クラブ・サロンへと広がると認識を深めました。まずは3人からでも出発・実践してみる事から始めようとなりました。



(第三分科会 報告者日出東おたっしゅクラブ代表 菅原ヒサ子さん)

第29回日本高齢者和歌山大会の報告

第29回日本高齢者和歌山大会に山形県から30人の代表団長・吉野文夫さんから高齢者和歌山大会の報告を受け、『旅は道連れ 世は情け一旅をして健康に五感を活かし一人間再生』を大会前後に高野山と長良川を散策し楽しむことができました。

大会では安齋郁郎先生の記念講演で「いまの日本は平和ですか」と聞かれたら、どうしますか？現代の平和学では暴力には直接的暴力・構造的暴力・文化的暴力の3種類があり、2014年世界平和度指数ランキングでは日本は第3位から第8位に後退しました。

私たちは、多様な情報・多様な価値観の中で、我々は主権者として自覚を持ち、力を合わせ平和で安心して住み暮らすことのできる地域づくりを進めましょと報告を結びました。

鶴岡・田川いきいき輝く高齢期運動実行委員会事務局  
山形県高齢者福祉生協 事務局長 菅原丈男

# 5. 3憲法集会

(会場：有明防災公園)

2016年5月3日

13:00-16:00 (予定)

主催：5.3憲法集会実行委員会

事務局：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会



◆日時：2016年5月3日 (火・休) 13:00～16:00 (予定)

◆会場：有明防災公園 (東京臨海広域防災公園)

りんかい線「国際展示場駅」徒歩4分

ゆりかもめ「有明駅」徒歩2分

◆集会内容：12:00 コンサート

13:00 集会

14:30 パレード

◆入場無料

【連絡先】

戦争させない1000人委員会 TEL:03-3526-2920

解散で憲法9条を壊すな！実行委員会 TEL:03-3221-4668

戦争する国づくりストップ！

憲法を守り・いかなず共同センター TEL:03-5842-5611



## 私たちがめざすこと

私たちは、日本国憲法を守り生かし、不戦と民主主義の心豊かな社会をめざします。

私たちは、二度と戦争の惨禍を繰り返さないという誓いを胸に、戦争法の廃止をめざします。

私たちは、沖縄県民と意思を共にし、辺野古新基地建設の撤回を求めます。

私たちは、被災者の思いに寄りそい、原発のない社会をめざします。

私たちは、人間の平等を基本に、貧困のない社会をめざします。

私たちは、人間の尊厳をかかけ、差別のない社会をめざします。

私たちは、くらしの基盤を壊す TPP に反対します。

私たちは、これらを実現するために行動し、安倍政権の暴走にストップをかけます。

2015年9月19日、安倍政権は「戦争法」の強行採決を行いました。その後も安倍政権は、憲法の規定を無視し野党が要求する臨時国会も開催せず、国内の多くの課題を棚上げにしたまま、外遊を重ねるなど、「戦争法」反対の声をかわし、忘却をねらう時間稼ぎを行いました。「戦争法」は3月末までに施行されます。私たちは決してあきらめません。戦争をしない日本を守ることを。

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動」は、「戦争法」反対で一致する多くの仲間とともに、12万人が集まった8・30集会など、連日の行動を重ねてきました。学生や、母親、学者の皆さんなど、これまでの活動の範囲や、それぞれの立場やいきさつを超えて、本当に多くの人々が集まりました。まさに、市民社会のとりくみの新しい形をつくったように思います。

私たちは、あきらめることなく、市民の「いのち」をないがしろにする安倍政権に、立ち向かわなくてはなりません。

2015年5月3日、「戦争・原発・貧困・差別を許さない！」として開催された、横浜の臨港パークでの「平和といのちと人権を！5・3憲法集会」は、とりくみの課題をこえて「いのち」の一点で3万人を超える皆さんが集いました。

「戦争させない・9条壊すな総がかり行動」に参加された皆さん、そして国会正門前に「戦争法」反対で足を運ばれた皆さん、そして安倍政権の「いのち」をないがしろにする政策に反対されている皆さん、2016年5月3日も大きな声を上げようではありませんか。そして私たち市民の思い、「安倍政権に私たちの未来を任すことはできない」「明日の日本は私たちが決める」そのことを確認し合おうではありませんか。5月3日はご家族や友人など、大切な人と一緒に集まりましょう。

## 事務局よりお知らせ

◇第25期・2016年度日本高齢者運動連絡会総会

第30回日本高齢者大会in東京 第2回 中央実行委員会 開催

○開催日：4月16日（土） 10時より

○会場：中野サンプラザ（東京都中野区中野4-1-1 Tel03-3388-1174）

※ 加盟団体あてに議案書同封しました。

第30回日本高齢者大会in東京に関して

◇宿泊先の確保は例年通り、それぞれ各県・団体などをお願いします。

（予約が取りにくい状況のようです。お早めをお願いします。）

◇2日目 全体会時間 10時から13時です

◇リーフレットは4/16発行予定です

◇アンケートにご協力をお願い

過日、各都道府県高齢期（者）運動連絡会様あてに『アンケートのお願い』を送付させていただきました。

ご多用中恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

※第29回日本高齢者大会in和歌山 報告集 お申込みを

（定価 1,200円）

※第29回日本高齢者大会in和歌山 DVD （定価 500円）

☆高齢者運動連絡会関係限定販売

＜特色＞ 和歌山大会の記録 ダイジェスト（15分）

安斎育郎氏の記念講演（70分）

※篠崎次男氏著 高齢期運動のブックレットNo.2

「日本における高齢期保障の歩みと高齢期運動」

を学ぶテキストとして最適です。（定価500円）

発刊（社）日本高齢期運動サポートセンター

\*お申し込みはFax 03-3384-6654

# 第30回日本高齢者大会in東京 会場

◇1日目 8月28日(日) 講座・分科会 大正大学

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1



電車の場合

東京駅から約30分

東京（山手線内）⇒巣鴨（都営三田線乗換）⇒西巣鴨

- ・ 都営地下鉄三田線・・・西巣鴨駅下車 徒歩2分
- ・ JR埼京線・・・板橋駅東口下車 徒歩10分
- ・ 都電荒川線・・・新庚申塚駅又は庚申塚駅下車 徒歩7分

◇2日目 8月29日(月) 全体会 東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号



電車の場合

JR 有楽町駅より徒歩1分

- ・ 東京駅より徒歩5分（京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡）

地下鉄

- ・ 有楽町線 有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡
- ・ 日比谷線 銀座駅より徒歩5分／日比谷駅より徒歩5分
- ・ 千代田線 二重橋前駅より徒歩5分／日比谷駅より徒歩7分